

## 令和4年度 学校評価書

四万十市立東中筋小学校

学校長（ 門田 典弘 ）印

## 1. 学校教育目標

「主体的に学び、心豊かでたくましく、ともに高め合う児童の育成」  
 ～笑顔いっぱい あいさついっぱい 元気いっぱい ひがなか小～

## 2. 本校の現状

## 【知】確かな学力の育成

昨年度の学校経営計画の到達指標として、高知県学調とCRT検査において、全学年、全教科(県・全国比)+3以上を目指して取り組み、県学調の4年生国語、5年生算数、標準においては、3年生国語が指標に届かなかったが、概ね良好な結果といえる。ただ、個々に見ると学級の中の学力の2極化も現れ、支援の必要な児童も各学級にいる。よって、学力の定着と更なる向上に向け、加力指導だけでなく、学習意欲を高め、学習土台となる互いに認め合い高め合う学習集団の育成にも取り組みたい。また、新学習指導要領の趣旨を踏まえて資質・能力ベースの授業、主体的・対話的・深い学びを進めるための学びの質的改善や授業スタンダードの更なる徹底に努めていくと共に、家庭との連携によって、低学年から学習習慣の定着、基礎・基本の徹底を図っていくことが必要である。急激な児童数減による複式学級の設置と併せて、今後の児童減に対応するため、児童が、主体的に活動するリーダー学習や、GIGAスクール構想と連動したICTの活用等についても研究を進めていきたい。

## 【徳】豊かな心の育成

本校では一昨年度まで3年間、高知県教育委員会の「道徳教育推進拠点校事業」の指定を受け、「考え議論する道徳科の授業」を要として取り組み、道徳科の授業改善を目指してきた。授業の質的向上や、児童が主体的に考えを持つと共に、多面的多角的に議論する授業の創造には各種アンケート結果などからも一定の成果があった。加えて、指定2年目からは各行事や委員会活動等、他の教育活動と関連させ、価値項目を集中的、効果的に学習するユニット化にも取り組んだ。生活目標等と絡めながら、ユニットテーマを設定して、学校教育活動全体を通じた道徳教育とすることで、効果的かつ重点的に価値項目への意識化が図られ、結果として道徳性の伸長や自尊感情の向上にも結びつけることが出来た。今後も、道徳科や人権教育、日々の児童会・縦割り班の活動の充実により、自他を尊重しお互いに認め合い協力することの大切さや思いやりの心をもった児童を育成に努めたい。

・「ふるさと教育」の継承：本校のよき伝統である地域を知り、ふるさとを誇りに思う児童の育成に向けた、地域学校協働本部事業の活用や地域人材の支援による体験活動の開催

## 【体】健やかな体の育成

朝マラソンや外遊び等の奨励等、年間を通しての活動や体育の授業を通して、体力や運動能力の向上を図るとともに、基本的な生活習慣の確立に向けた生活調べや、保護者への啓発活動等を通して、より良く生活していこうとする態度を育てたい。

## 【横断】

・不登校の未然防止と支援：本校における課題の一つとして、不登校あるいは、登校渋り等の出現があげられる。心の健康と安心できるクラス作りを目指してQ-U等の活用、スクールカウンセラーとの連携を図る。

・学校における働き方改革の更なる進展：月45時間、年間360時間の時間外勤務の上限を意識した業務改善を図る。

・保・幼・小の連携と接続の強化：スタートカリキュラムの作成(10の育てたい姿の共有)及び、スタートカリキュラム表を活用しての各教科等の相互関連を意識した授業の実施

## 3. 本年度の評価項目

## 〔1〕学力向上

- ①学力向上のための組織的な校内研修等の取組
- ②子どもにわかる授業づくり
- ③予習・復習の質と量を高める取組
- ④基礎・基本の徹底を図るための取組

## 〔2〕生徒指導

- ①いじめの防止等のための取組
- ②不登校への総合的な対応のための取組
- ③基本的な生活習慣の確立に向けた取組
- ④特別支援教育の視点を基盤にした取組

## 〔3〕学校・家庭・地域の連携・協働

- ①保幼小、小中の円滑な接続の推進
- ②みんなであいさつ運動
- ③学校支援地域本部、青少年を育てる会と連携したふるさと教育の推進
- ④学校情報の公開

## 〔4〕働き方改革（業務改善）

- ①適切な業務管理及び組織としての対応
- ②ワークライフバランスを意識した業務改善

## 〔5〕新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善（算数科）

- ①数学的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業づくり
- ②学習リーダーを活用し、児童が主体的に取り組む授業づくり
- ③ICTの効果的活用

4. 自己評価

| 評価項目        |                       | 評価指標                                                                                    | 取組状況・成果 | 評価 | 次年度の方策 |
|-------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------|----|--------|
| 大           | 中                     |                                                                                         |         |    |        |
| (1)<br>学力向上 | ①学力向上のための組織的な校内研修等の取組 | ①主体的、対話的で深い学びを意識した授業づくりをしている85%以上<br>②全学級研究授業または公開授業の実施<br>③複式・算数・ICT教育等に係る外部講師招聘研修会の開催 |         |    |        |
|             | ②子どもにわかる授業づくり         | ①児童アンケートで「授業がよくわかる」95%以上「授業中よく発表できた」95%以上<br>②ひがなか授業スタンダードの実施100%                       |         |    |        |
|             | ③予習・復習の質と量を高める取組      | ①保護者アンケート「ひがなかノートを毎日チェックしている」85%以上<br>②学校だよりや学級通信での発信100%                               |         |    |        |
|             | ④基礎・基本の徹底を図るための取組     | ①週1回の加力指導の実施100%<br>②ドリルの反復活用、各種シートの活用、基礎基本のプリント集の活用90%以上                               |         |    |        |
| (2)<br>生徒指導 | ①いじめの防止等のための取組        | ①児童アンケート「学校生活が楽しい」「東中筋小が好き」肯定的評価95%以上<br>②Q-Uにおける学級生活満足群89%以上                           |         |    |        |
|             | ②不登校への総合的な対応のための取組    | ①外部機関、SCとの連携、肯定的評価90%以上<br>②ハート委員会等、毎月1回以上の全職員による情報共有                                   |         |    |        |
|             | ③基本的生活習慣の確立に向けた取組     | ①生活リズム名人60%以上<br>②保健だより毎月2枚以上、メディアコントロール強調週間の実施                                         |         |    |        |
|             | ④特別支援教育の視点を基盤にした取組    | ①ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり90%以上（公開授業及び研究授業）<br>②年2回のQUの実施と検証、生活アンケートへの対応、SCによる児童面談実施     |         |    |        |

|                       |                                    |                                                                                                               |  |  |  |
|-----------------------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 〔3〕<br>学校・家庭・地域の連携・協働 | ①保幼小、小中の円滑な接続の推進                   | ①カリキュラム表を活用した授業の実施90%以上<br>②育てたい力の確認、小学校各種行事への園児の参加<br>③小中連携、9年間を見通した学習・生活習慣づくり                               |  |  |  |
|                       | ②みんなであいさつ運動                        | ①月1回の「あいさつ運動」「あいさつ朝会」の実施<br>②あいさつ運動を年間の中心活動として捉え、あいさつの良かった児童やあいさつ名人の表彰                                        |  |  |  |
|                       | ③地域学校協働本部事業、青少年を育てる会と連携したふるさと教育の推進 | ①東中筋地区青少年を育てる会を年2回開き、地域との連携を図る<br>②「地域との関りを意識した授業」や地域人材支援による活動の実施100%<br>③「学校や地域でやっているいろいろな体験活動が好き」肯定的評価80%以上 |  |  |  |
|                       | ④学校情報の公開                           | ①月1回、学校だよりを地域に回覧し、学校の様子を発信する<br>②月に1回以上学校ホームページの更新をする                                                         |  |  |  |
| 〔4〕<br>働き方改革（業務改善）    | ①適切な業務管理及び組織としての対応                 | ①定時退校日、最終退校時刻の順守95%以上<br>②職員会・校内研の勤務時間内の終了90%以上<br>③行事振り返りシート活用における肯定的評価90%以上                                 |  |  |  |
|                       | ②ワークライフバランスを意識した業務改善               | ①時間外勤務時間月45時間、年360時間以内を遵守できた教員90%以上<br>②学校における働き方改革研修の実施100%                                                  |  |  |  |

|                                 |                                 |                                                                                                  |  |  |  |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 〔5〕<br>新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善（算数科） | ①数学的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業づくり | ①児童アンケート「これまでに学習した内容や方法を使って考えることができた」肯定的評価90%以上<br>②同上「自分の考えを発表したり、考えた理由を書いたりすることができた」肯定的評価90%以上 |  |  |  |
|                                 | ②学習リーダーを活用し、児童が主体的に取り組む授業づくり    | ①学習リーダーを活用した学習（算数科）80%以上<br>②児童アンケート、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広めたりすることができた。90%以上                  |  |  |  |
|                                 | ③ICTの効果的活用                      | ①タブレット端末やデジタル教科書などICTを活用した授業の実施率30%以上（算数科）<br>②児童アンケート「タブレットやコンピュータの授業では、進んで勉強しようと思う」肯定的評価90%以上  |  |  |  |

4段階評価（4 目標を十分に達成、 3 ほぼ目標を達成、 2 やや不十分、 1 改善を要する）

#### 5. 学校関係者評価

|  |
|--|
|  |
|--|